

ICT支援員だより

平成28年度 第3号
平成28年9月1日 発行



夏休み中に、吉田小学校、美土里小学校の通常学級に1台ずつ電子黒板機能内蔵プロジェクターと実物投影機、教員用パソコンが整備されました。これからモデル校の向原小学校、向原中学校と共にICTの活用を推進していただきたいと思います。

導入された機器について



☆電子黒板機能内蔵型プロジェクター

・モデル校である向原小学校・向原中学校に整備されているものと同じ型のプロジェクターです。このタイプのプロジェクターの良さは「ICT支援員だより」第2号でお伝えした通りです。



☆実物投影機

・片手で持てる大きさで持ち運びができるため、机間指導時や観察、校外学習などの時に簡単に撮影できます。
また、付属のスタンドに挿しこむことで、固定して教科書やプリントなどを映すことができます。
この実物投影機の良さは、受信機と一緒に使用することで撮影した画像や動画を無線で電子黒板に送信して、映すことができることです。



☆教員用PC

・電子黒板機能内蔵型プロジェクターとつないで使用することで、自作のデジタル教材などを拡大表示するだけでなく、LANにつないで情報検索をするなど多様な活用が見込まれます。

【研修予定】

- ① 9月 2日（金）向原小学校サテライト研修
※支援員だより第1号では9月9日（金）とお伝えしていましたが、9月2日（金）に変更しています。
- ② 10月12日（水）向原小学校サテライト研修
- ③ 11月16日（水）向原中学校公開研究会
- ④ 1月31日（火）向原小学校公開研究会



ICT活用モデル校 向原中学校の実践例

○実施日 6月28日(火)

学 年	教科等	単元名
1	保健体育	「球技」(ネット型・バレーボール)

○本時の目標

攻撃に結びつけるためのレシーブやトスの改善ポイントを仲間に説明し、ゲームに生かすことができる

○活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

活用したもの	活用のねらい (だれが・何のために・どのように活用するか)
DVD プレイヤー	生徒がゲーム場面の動きに着目し、レシーブやトスを意識しながら見ることで、改善点や気をつけるべき点を見つけることができよう。動画を見せる。 ※あらかじめ MovieMaker でスロー再生の動画を作成したものを見せる。
ノート PC	レシーブとトスの動きに着目し、比較しながら見て、改善点や気をつけるべき点を見つけるために動画を見せる。 ※授業支援ソフトの『くらべるツール』という機能を活用し、良い動きと課題のある動きを同時再生する。

○本時の学習展開 (主な学習活動)

学習の流れ	主な学習活動	ICT 機器・教材, コンテンツ等
導入	1 整列、挨拶をする。 2 本時の目標を確認する。 3 体操、補強運動をする。 4 パス練習、レシーブ練習をする。	
展開	5 ゲーム場面とレシーブとトスの比較映像を見る。 6 各グループごとで話し合いをして、発表する。 7 チーム別課題練習を行う。 8 メインゲームを行う。	DVD、DVD プレイヤー、 ノート PC、くらべるツール、 モニター用テレビ
まとめ	9 本時のまとめを行う。 10 整列、挨拶、後片付けを行う。	

○授業の様子



レシーブの比較映像を見ている様子



各グループごとに話し合いをしている様子

【サテライト研修について】



6月27日（月）に安芸高田市 ICT 教育研修会（サテライト研修）が行われました。講師には、広島県立教育センター 指導主事 谷川 佳万先生においでいただきました。「ICT を効果的に活用した授業づくり」をテーマにした講座で安芸高田市の小・中学校の情報教育担当の先生など多数の先生が参加されました。その研修会の中で話された ICT 活用のポイントを簡単にご紹介します。

☆ICT を授業に生かすポイント



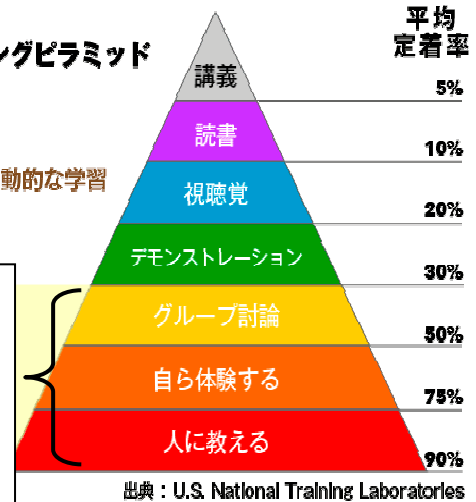
自ら学ぶ力を向上させるために
ICT 機器をどの場面で
活用するか

講義をただ聞くよりも、討論したり、
体験したり、むしろ学習者自身が教
える活動をする事でより学習した
ことが定着していきます。

ラーニングピラミッド

従来の受動的な学習

子どもと子どもを
つなぐ ICT の活用



①授業の設計を第一に

- ・まず、単元の流れや本時の展開のどこで活用することが効果的なのかしっかり計画を立てましょう。

②これまでの授業スタイルを生かす

- ・ICT を活用するためを目的とした活用では長続きはしません。自分の授業スタイルの中で効果的に活用していきましょう。

③使うことで上達する

- ・始めからスムーズに活用することは難しいです。簡単な活用から少しずつ慣れていきましょう。

☆電子黒板と黒板のバランス



〈電子黒板の役割〉

- ・学習意欲の喚起
- ・資料の拡大提示
- ・書き込みによる共通理解
- ・思考や表現の場

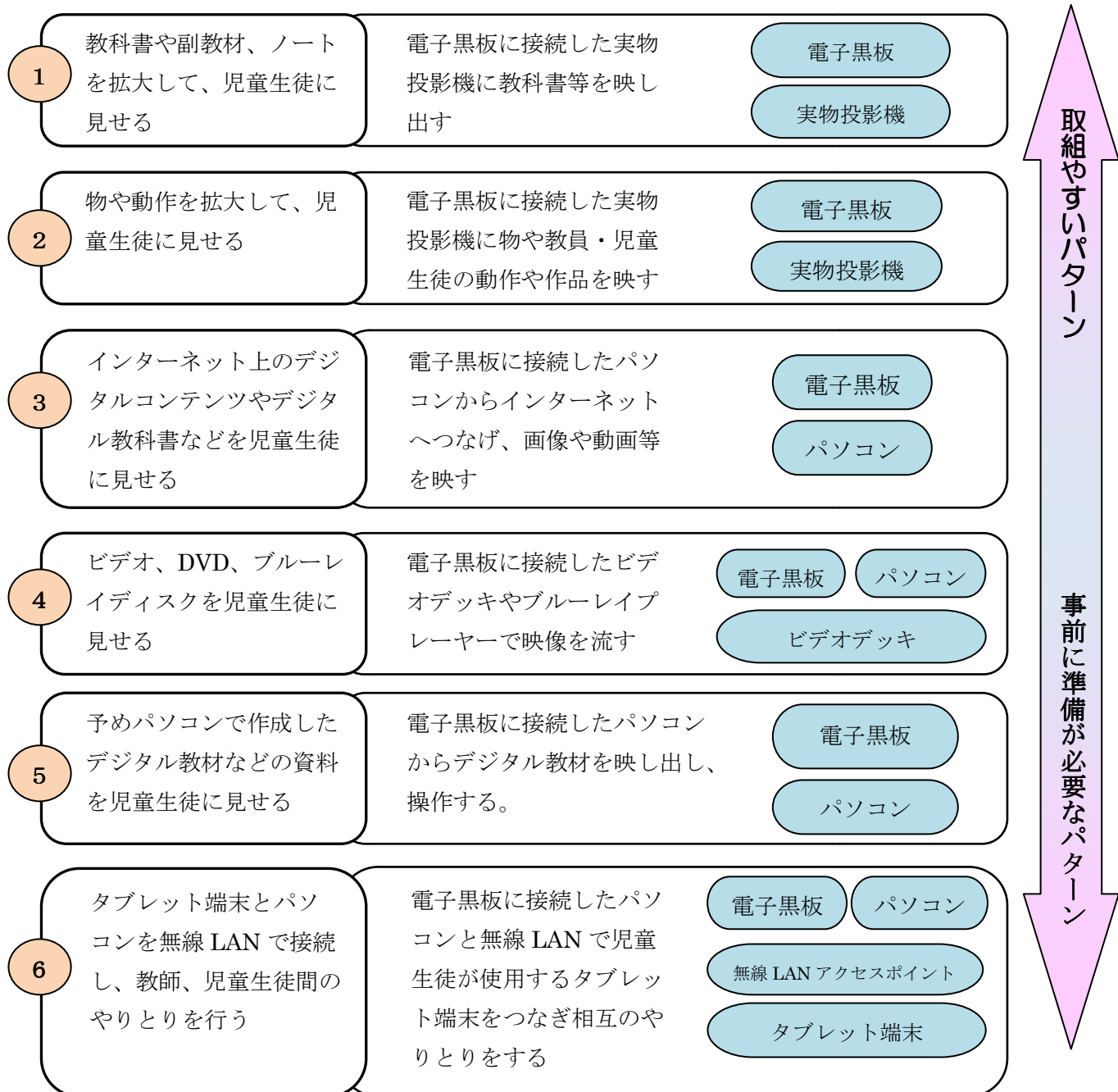
〈黒板の役割〉

- ・学習活動の提示
- ・思考を整理する場
- ・ノートを書く手助け
- ・学習過程やポイントの記入

○ICT による情報の提示は、板書の代わりになるものではありません。提示した情報について説明等をした上で、従来通り重要な点は板書し、児童生徒にノートをとらせる指導も重要となります。

ICTの活用パターン

授業でのICT活用方法は、比較的簡単な準備で始められるものから、事前にパソコンなどで十分な準備を行うことが必要なものまであります。ここでは、比較的好く見られる活用パターンのいくつかを紹介します。



○ここで示したことはあくまでも一例です。他にも様々な活用パターンや、他のICT機器を利用した方法があります。簡単にできることからICTを授業で活用してみてください。

次号は11月に発行します。次号では、今年度新しく整備された実物投影機について、小学校のICTの活用実践例を紹介したいと思います。

